

# 甲状腺外科草子 96

## 飛行機嫌いの名機探訪：各務原（前）

杉野 圭三

岐阜県各務原には戦前、陸軍飛行場があり（大正8年から運用）、現在は航空自衛隊岐阜基地となり、飛行開発実験団や中部高射群（パトリオットなど）が展開している。



大正8年の各務原 現在の基地

この基地に入るのは簡単でないが、近くには飛行機好きに有名な空宙博（そらはく）と呼ばれる「岐阜かがみがはら航空宇宙博物館」がある。名古屋から各務原まで名鉄で50分前後の距離で、各務原駅からバスに乗り替えとなる。途中は広大な濃美平野が広がり、飛行場には最適な立地条件である。

博物館には広大な敷地があり、バス停前の広場にV-107Aヘリ、YS-11、US-1A、P2-Jなどが陳列されている。



川崎V-107Aヘリコプター



YS-11A-500R

YS-11は戦後初めて日本で開発された双発機で、戦前から飛行機製造に関わっていた三菱、中島、川崎、富士、川西などが総力を挙げて参加、零戦開発者の堀越二郎らも参加している。広島空港でも運用された懐かしい機

体である。しかし、これらの歴史的価値のある貴重な機体が屋外で風雨に晒されているのは極めて残念なことである。



川崎P-2J対潜哨戒機



新明和US-1A

屋内には防衛庁技術研究本部（当時）と新明和工業がグラマンUF-1飛行艇を大改造したUF-XS実験飛行艇が展示されている。



UF-XS 実験飛行艇



試験中のUF-XS 実験飛行艇

戦前、九十七式飛行艇、二式大艇、紫電改を製造し、戦後PS-1、US-1、US-2などの優れた飛行艇を開発した新明和工業（川西航空機）の歴史を物語る貴重な実験機である。

参考資料：航空自衛隊岐阜基地ホームページ

（一甲状腺外科医の徒然なる随想）

2024年4月4日